

ひまわり No.42

消防広報 令和8年(2026) 2月20日

編集・発行 出雲市消防本部 情報指令課

TEL: (0853) 21-2119(代)

e-mail:soumu@izumol19.or.jp

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

2025年度 全国統一防火標語

3月1日(日)から3月7日(土)まで

春季火災予防運動を

実施します!

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的に、3月1日から3月7日までを「春の全国火災予防運動」の期間として、消防本部では各種イベント等を実施し啓発活動を行います。

この機会に防火意識を高め、火災予防に努めましょう。



救急協力団体（伊野地区ファーストレスポnder）表彰式



伊野地区ファーストレスポnderは、平成27年の発足以来、約10年間にわたり、組織として継続的な訓練に励み、常に高い救命技術を維持することで、地域の救命体制構築に大きく貢献してきました。その長年の活動が結実し、令和7年9月には出雲市地合町で発生した心肺停止事案において、隊員による迅速かつ的確な救命活動により、傷病者は一命をとりとめ、社会復帰を果たしています。この顕著な功績は、弛まぬ努力と高い志

の賜物であり、地域の安全・安心に多大な貢献をされたものです。

「ファーストレスポnder」とは、119番通報を受けた際、救急隊の到着を待たずに、現場付近にいる消防団員や専門の救命講習を受けた地域住民が先行して現場に駆けつけ、応急手当を行う制度です。主な活動内容には、心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）による早期の電気ショック、止血処置などがあり、救急隊への円滑な引継ぎを通じて「救命の連鎖」をつなぐ役割を担っています。



モバイルバッテリーの事故に注意しましょう!



モバイルバッテリーは、スマートフォンやタブレット等を充電できる予備の電源として、近年急速に普及しています。軽量でありながら高電圧かつ大電力なため、多くの消費者にとって身近なものになっていますが、取扱いを誤ると発熱によってやけどを負うこともあり、場合によっては事故につながることもあります。

- (1) リコール対象製品でないか、リコール情報を確認しましょう。
- (2) 新規に購入する際は、PSEマークを必ず確認しましょう。
- (3) 製品本体に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しないようにしましょう。
- (4) 充電中は周囲に可燃物を置かないようにしましょう。
- (5) 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違って異常を感じたら使用を中止しましょう。
- (6) 充電コネクタの破損や水ぬれに注意しましょう。
- (7) 公共交通機関での事故を避けるため、持込規則を確認して、それに従いましょう。
- (8) 使用済みモバイルバッテリーはリサイクルに出しましょう。

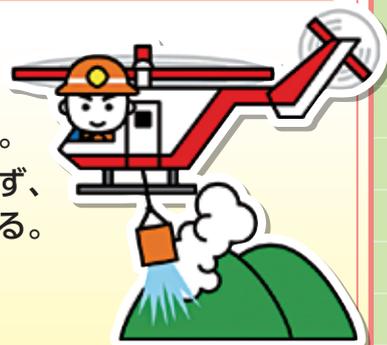


廃棄の際は、自治体のルールに従い、適切な方法で処分してください。

山火事防止について ~あなたの行動が山を守ります~

防火のポイント

- 火災が起こりやすい枯れ草等のある場所では、火の取扱いをしない。
- 火を取り扱うときは、事前に消火の準備をしておき、その場を離れず、火が残らないように後始末を徹底し、完全に消火したことを確認する。
- 強風時や乾燥時には、火気を使用しない。
- たばこの吸殻は必ず消すとともに、投げ捨ては絶対にしない。



BC災害対応 合同訓練

長浜コミュニティセンターを会場に、BC災害を想定した対応訓練を行いました。訓練では、複数の傷病者が出た場合を想定し、現場の情報収集や安全な救出方法、部隊同士の連携を実践的に確認しました。迅速で確実な対応につながるため、今後も訓練を重ねていきます。BC災害とは、化学物質や生物剤によって引き起こされる災害のことです。



スサノオごっこいまつりで 「消防体験イベント」開催

第27回スサノオごっこいまつりに参加し「消防体験イベント」を開催しました。本物のホースを使った放水体験や煙の中を避難する煙体験ハウスを実施しました。煙体験ハウスでは前が見えず、子供たちはドキドキしながら進んでいました。子供用防火衣を着ての写真撮影コーナーも人気で、家族連れが楽しみました。参加者は笑顔で体験し、防火防災意識の向上につながる消防体験イベントを開催することができました。



一畑電車総合事故対応 合同訓練

雲州平田駅にて、一畑電車総合事故対応合同訓練を実施しました。公共交通機関である一畑電車は、営業総距離42.2キロメートルにわたり、住民の皆さまをはじめ観光客も多く利用されています。万が一、列車事故が発生した際の対応に万全を期するため、実際の現場を想定し、各関係機関との情報共有及び連携強化を図りました。



島根県防災航空隊との 合同訓練

本訓練は、山岳における救助事案を想定し、島根県防災航空隊との連携を図るため合同訓練を実施しました。訓練内容は通報時の傷病者のGPS情報取得、島根県防災航空隊要請、搜索、航空隊との相互位置情報把握、救出プラン共有、吊り上げ救出位置の選定など実災害に準じて行い、災害現場における円滑な連携を図ることができました。



令和8年 出雲市消防出初式

令和8年1月11日、令和8年出雲市消防出初式を挙りました。本年は悪天候のため、来場者の安全を考慮し、一般公開行事を中止して記念式典のみ実施いたしました。車両観閲や訓練展示などは中止となりましたが、厳粛な雰囲気の中、消防職員・消防団員が一堂に会し、出雲市の安全・安心を守る決意を新たにしました。今後も、万一の災害に備え、市民の生命身体及び財産を守る責務を全うするため、日々の活動に取り組んでまいります。



飯塚市長の式辞

サングラスの着用について

車両の運転や災害活動時に強い日差しによる視界不良を防ぐとともに、紫外線による目の健康被害を防ぐことを目的として、令和7年12月1日から消防職員がサングラスを着用することがあります。市民の皆さまと接する際はサングラスを外して対応します。

安全な活動及び職員の健康を守るためのサングラスの着用について、ご理解をお願いいたします。



患者等搬送事業について



患者等搬送事業とは、「救急車を呼ぶほど緊急ではないけど、病院を受診したい」という場合や、寝たきりや車いすの方で、目的地までの移動が難しいというときなど、民間事業者が提供する有料送迎サービスです。

出雲市消防本部では、市民の皆さまが安全・安心に利用いただくために、講習受講等の一定要件を満たした民間事業者を患者等搬送事業者として認定しています。

認定を受けた事業者は、消防本部が審査した車いすやストレッチャーが固定できる車両を保有し、応急手当や搬送法についての講習を修了した乗務員が乗務しています。また、応急手当に必要な資器材も積載しています。

出雲市消防本部のホームページでは、認定事業所の一覧を公開しています。

また、新たに認定を受けたい事業所の皆さまからのご相談・申請も受け付けています。



◀ 出雲市消防本部
認定事業所は
こちら

※救急車と同等の処置は行えません。緊急を要する場合、迷わず119番通報してください。

おたすね

代表 (電話 21-2119) (FAX 21-8241)

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 情報指令課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 佐 田 分 署 (電話 84-0915)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内(電話 23-0119) 出雲市消防本部ホームページ <https://www.izumo119.or.jp>
e-mail: soumu@izumo119.or.jp



出雲市消防本部HP